

# 第9回 1型糖尿病研究会 プログラム

10月29日(土)

---

12:00 ~ 受付開始

13:00 ~ 13:10 開会の挨拶

## セッション1 興味ある症例1

13:10 ~ 13:40

座長：高橋 和真（岩手医科大学医学部糖尿病代謝内科）

### 1. インスリノーマ合併1型糖尿病の1症例

○及川洋一<sup>1)</sup>、香月健志<sup>1)</sup>、川崎麻紀<sup>1)</sup>、橋口明典<sup>2)</sup>、向井 清<sup>3)</sup>、半田 寛<sup>4)</sup>、壁谷悠介<sup>1)</sup>、  
富田益臣<sup>1)</sup>、岩瀬恭子<sup>5)</sup>、廣瀬茂道<sup>2)</sup>、小山一憲<sup>6)</sup>、渥美義仁<sup>1)</sup>、島田 朗<sup>1)</sup>

- 1) 東京都済生会中央病院内科、2) 慶應義塾大学医学部病理学教室
- 3) 東京都済生会中央病院病理診断科、4) 東京都済生会中央病院外科
- 5) 国立病院東京医療センター内科、6) 国際医療福祉大学三田病院内科

### 2. 発症後10年間のインスリン分泌能の経時的変化と現在のCGMを観察し得た劇症1型糖尿病の一例

○伊藤 新<sup>1)</sup>、島田 朗<sup>2)</sup>、及川洋一<sup>2)</sup>、小出景子<sup>3)</sup>、渥美義仁<sup>3)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科、2) 東京都済生会中央病院内科
- 3) 東京都済生会中央病院糖尿病臨床研究センター

### 3. 併発頻度が低いといわれる強皮症を合併した1型糖尿病3症例

○志村香奈子<sup>1)</sup>、三浦順之助<sup>1)</sup>、保科早里<sup>1)</sup>、川口鎮司<sup>2)</sup>、内潟安子<sup>1)</sup>

- 1) 東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科
- 2) 東京女子医科大学病院膠原病リウマチ痛風センター内科

## セッション2 興味ある症例2

13:40 ~ 14:00

座長：菊池 信行（横浜市立みなと赤十字病院小児科）

### 4. 炭酸水素ナトリウム持続投与により意識レベルが悪化した糖尿病性ケトアシドーシスの1例

○小林基章、大堀淑恵、齋藤朋洋、杉田完爾  
山梨大学医学部小児科

### 5. Basedow 病初発時に高血糖と抗GAD抗体陽性を認めた1例

○櫻井牧人<sup>1)</sup>、長妻美沙子<sup>1)</sup>、太田正康<sup>2)</sup>、鹿島田健一<sup>3)</sup>

- 1) J A 取手総合医療センター小児科、2) J A 取手総合医療センター
- 3) 東京医科歯科大学発生発達病態学

座長：川村 智行（大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学）

**6. GAD 抗体価低値の緩徐進行 1 型糖尿病（SPIDDM）における膵  $\beta$  細胞機能の推移に関する検討（第 3 報）**○田中昌一郎<sup>1)</sup>、大久保実<sup>2)</sup>、長澤 薫<sup>2)</sup>、滝澤壮一<sup>1)</sup>、一條昌志<sup>1)</sup>、秋山大一郎<sup>1)</sup>、会田 薫<sup>1)</sup>、金重勝博<sup>1)</sup>、森 保道<sup>2)</sup>、小林哲郎<sup>1)</sup>

1) 山梨大学医学部第三内科、2) 虎の門病院内分泌代謝科

**7. 小児期発症緩徐進行型 1 型糖尿病の臨床的特徴に関する検討—  
東京都学校検尿・糖尿病検診による結果から**○浦上達彦、桑原怜未、古宮 圭、長野伸彦、吉田彩子、鈴木潤一、高橋昌里、麦島秀雄  
日本大学医学部小児科学系小児科学分野**8. 発症年代別にみた 1 型糖尿病の臨床像**○保科早里、三浦順之助、内潟安子  
東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科

座長：佐々木 望（埼玉医科大学かわごえクリニック）

**9. 高知における 1 型糖尿病診療の現状**○岡田泰助<sup>1)</sup>、荒木まりこ<sup>2)</sup>、新井淳一<sup>3)</sup>  
1) もみのき病院糖尿病・生活習慣病外来内科小児科  
2) 高知大学医学部小児思春期医学教室、3) 細木病院小児科**10. 蛋白摂取量と血糖値に与える影響**○川村智行<sup>1)</sup>、柏原米男<sup>1)</sup>、渡辺香織<sup>1)</sup>、橋本友美<sup>2)</sup>、上田博幸<sup>1)</sup>、藤本浩毅<sup>3)</sup>、野井香梨<sup>3)</sup>、東出 崇<sup>4)</sup>、藤川しおり<sup>1)</sup>  
1) 大阪市立大学大学院発達小児医学教室、2) はぐはぐキッズクリニック副院長  
3) 大阪市立大学医学部附属病院栄養部、4) はぐはぐキッズクリニック院長**11. 妊娠中および妊娠前血糖管理における CSII の有用性について**○羽生政子、浦上達彦、桑原怜未、古宮 圭、吉田彩子、鈴木潤一、高橋昌里、麦島秀雄  
日本大学医学部小児科学系小児科学分野

## セッション5 治療・管理2

15:00～15:20

座長：大津 成之（北里大学医学部小児科）

### 12. 成人期におけるカーボカウントを用いた強化インスリン療法の検討

○岡田裕子、小林寛和、永田正男  
加古川西市民病院糖尿病内科

### 13. 1型糖尿病（IDDM）患者における糖尿病合併症長期予後に関する検討（第2報）

○倉敷有紀子<sup>1)</sup>、今川彰久<sup>1)</sup>、沖田考平<sup>1)</sup>、岩橋博見<sup>1)</sup>、小澤純二<sup>1)</sup>、伊藤直人<sup>2)</sup>、下村伊一郎<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学、2) 伊藤内科クリニック

15:20～15:40 休憩

## イブニングシンポジウム 1型糖尿病患者の治療と患者教育

15:40～17:20

座長：雨宮 伸（埼玉医科大学小児科）

小林 哲郎（山梨大学医学部第三内科）

### 1. 内科における1型糖尿病治療

島田 朗  
東京都済生会中央病院内科

### 2. 内科における1型糖尿病患者教育

丸山太郎  
埼玉社会保険病院内科

### 3. 小児科における1型糖尿病の患者教育

菊池信行  
横浜市立みなと赤十字病院

### 4. 小児科における1型糖尿病治療

鈴木潤一  
駿河台日本大学病院小児科

17:20～17:40 休憩

**Are the new insulin analogues mitogenic?**

Zvi Laron MD, PhD  
Endocrinology & Diabetes Research Unit  
Schneider Children's Medical Center  
Tel Aviv University

18 : 40 ~ 19 : 00 休憩

19 : 00 ~ 懇親会

10月30日(日)

---

**セッション6 動物モデル**

9:00 ~ 9:40

座長：永淵 正法（九州大学大学院医学研究院保健学部病態情報学講座）

**14. IRF-4 欠損 NOD マウスにおける膵島炎および糖尿病の完全抑制**

○赤澤 諭<sup>1)</sup>、阿比留教生<sup>1)</sup>、古林正和<sup>1)</sup>、中村 寛<sup>1)</sup>、桑原宏永<sup>1)</sup>、厨 源平<sup>2)</sup>、川崎英二<sup>3)</sup>、山崎浩則<sup>4)</sup>、川上 純<sup>1)</sup>

- 1) 長崎大学病院内分泌・代謝内科(第一内科)、2) 長崎原爆病院内科  
3) 長崎大学病院生活習慣病予防診療部、4) 長崎大学保健・医療推進センター

**15. Granzyme B 遺伝子は、NOD マウスの糖尿病進展に影響を及ぼさない**

○古林正和<sup>1)</sup>、金子智恵子<sup>2)</sup>、阿比留教生<sup>1)</sup>、佐藤 剛<sup>1)</sup>、厨 源平<sup>1)</sup>、中村 寛<sup>1)</sup>、赤澤 諭<sup>1)</sup>、内田隆寛<sup>2)</sup>、川崎英二<sup>3)</sup>、山崎浩則<sup>4)</sup>、川上 純<sup>1)</sup>

- 1) 長崎大学大学院医歯薬総合研究科第一内科、2) 長崎大学病院薬剤部  
3) 長崎大学病院生活習慣病予防診療部、4) 長崎大学保健・医療推進センター

**16. 発症早期 NOD マウスへの GLP-1 受容体作動薬（リラグルチド）長期投与による膵島病変の変化**

○美内雅之<sup>1)</sup>、宮川潤一郎<sup>1)</sup>、小西康輔<sup>1)</sup>、永井悦子<sup>1)</sup>、松尾俊宏<sup>1)</sup>、村井一樹<sup>1)</sup>、勝野朋之<sup>1)</sup>、浜口朋也<sup>2)</sup>、難波光義<sup>1) 2)</sup>

- 1) 兵庫医科大学内科学糖尿病科、2) 先進糖尿病治療学

**17. IL-17/IFN- $\gamma$ R 遺伝子ダブル欠損 NOD マウスにおける糖尿病進展抑制**

○内田隆寛<sup>1)</sup>、阿比留教生<sup>2)</sup>、厨 源平<sup>2)</sup>、赤澤 諭<sup>2)</sup>、古林正和<sup>2)</sup>、中村 寛<sup>2)</sup>、川崎英二<sup>3)</sup>、佐々木均<sup>1)</sup>

- 1) 長崎大学医歯薬学総合研究科治療薬剤学、2) 長崎大学病院内分泌・代謝内科(第一内科)  
3) 長崎大学病院生活習慣病予防診療部

**セッション7 遺伝子**

9:40 ~ 10:10

座長：池上 博司（近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科）

**18. ORMDL3-GSDMB 遺伝子領域の SNP は幼児期発症 1 型糖尿病と関連する**

○綾部匡之<sup>1)</sup>、緒方 勤<sup>1)</sup>、川村智行<sup>2)</sup>、浦上達彦<sup>3)</sup>、菊池信行<sup>4)</sup>、雨宮 伸<sup>5)</sup>、杉原茂孝<sup>6)</sup>、小児インスリン治療研究会遺伝素因プロジェクトメンバー<sup>7)</sup>

- 1) 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、2) 大阪市立大学小児科  
3) 駿河台日本大学病院小児科、4) 横浜市立大学市民総合医療センター小児科  
5) 埼玉医科大学小児科、6) 東京女子医科大学東医療センター小児科  
7) 小児インスリン治療研究会

## 19. 自己免疫疾患の臓器特異性：円形脱毛症における膵島自己免疫の実態と遺伝解析 －甲状腺自己免疫との比較－

○朴 忠勇<sup>1)</sup>、能宗伸輔<sup>1)</sup>、川畑由美子<sup>1)</sup>、山内孝哲<sup>1)</sup>、原田剛史<sup>1)</sup>、馬場谷成<sup>1)</sup>、廣峰義久<sup>1)</sup>、  
伊藤裕進<sup>1)</sup>、守口将典<sup>1)</sup>、村田佳織<sup>1)</sup>、山片里美<sup>1)</sup>、武友保憲<sup>1)</sup>、大野恭裕<sup>1)</sup>、大磯直毅<sup>2)</sup>、  
川田 暁<sup>2)</sup>、池上博司<sup>1)</sup>

1) 近畿大学医学部附属病院内分泌・代謝・糖尿病内科

2) 近畿大学医学部附属病院皮膚科

## 20. 次世代シーケンス解析による日本人 1 型糖尿病の遺伝解析

○栗原 進<sup>1)</sup>、栗田卓也<sup>1)</sup>、山下富都<sup>1)</sup>、宮下由美<sup>2)</sup>、森田智子<sup>3)</sup>

1) 埼玉医科大学内分泌・糖尿病内科、2) 埼玉医科大学中央研究施設 R I 部門

3) 埼玉医科大学総合医療センター内分泌・糖尿病内科

## セッション8 免疫 1

10 : 10 ~ 10 : 50

座長：阿比留教生（長崎大学病院内分泌・代謝内科）

## 21. CXCL10 による膵 $\beta$ 細胞増殖抑制シグナルは CXCR3 を介している

○山田善史<sup>1)</sup>、大久保佳昭<sup>1)</sup>、島田 朗<sup>1)</sup>、及川洋一<sup>1)</sup>、成見正作<sup>2)</sup>、松島綱治<sup>2)</sup>、伊藤 裕<sup>1)</sup>

1) 慶應義塾大学医学部内科、2) 東京大学医学部大学院分子予防医学

## 22. 1 型糖尿病の発症年齢と ZnT8 抗体エピトープについての検討

○川崎英二<sup>1)</sup>、安井順一<sup>2)</sup>、諸熊治子<sup>2)</sup>、池岡俊幸<sup>2)</sup>、村田美美<sup>1)</sup>、赤澤 諭<sup>2)</sup>、植木郁子<sup>2)</sup>、  
中村 寛<sup>2)</sup>、古林正和<sup>2)</sup>、桑原宏永<sup>2)</sup>、阿比留教生<sup>2)</sup>、山崎浩則<sup>3)</sup>、川上 純<sup>4)</sup>

1) 長崎大学病院生活習慣病予防診療部、2) 長崎大学病院内分泌代謝内科

3) 長崎大学保健・医療推進センター、4) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学

## 23. 1 型糖尿病発症における MSR-A の役割の検討

○清水まみ、安田尚史、森山啓明、中村 晃、勝田敦美、花野智苗、佐々木弘智、荒井隆志、永田正男、  
原 賢太、横野浩一

神戸大学大学院医学研究科総合内科学

## 24. 樹状細胞での NF- $\kappa$ B 経路による AIRE 発現制御の検討

○小田淑恵<sup>1)</sup>、進藤美恵子<sup>2)</sup>、松尾友仁<sup>1)</sup>、野口由樹子<sup>3)</sup>、永尾幸大<sup>4)</sup>、栗崎宏憲<sup>1)</sup>、勝田 仁<sup>1)</sup>、  
永淵正法<sup>1)</sup>

1) 九州大学大学院医学研究院保健学部門病態情報学

2) 九州大学大学院医学研究院臨床医学部門病態修復内科学

3) 慶應義塾大学医学部検査、4) 小野薬品工業株式会社臨床開発推進二部

座長：今川 彰久（大阪大学大学院医学研究科内分泌・代謝内科学）

**25. 日本人糖尿病患者における内因性インスリン分泌と膵島関連自己抗体との関連**○森田智子<sup>1) 2)</sup>、山下富都<sup>2)</sup>、宮下由美<sup>3)</sup>、栗原 進<sup>2)</sup>、片山茂裕<sup>2)</sup>、中川央充<sup>4)</sup>、村田 満<sup>4)</sup>、丸山太郎<sup>5)</sup>、松田昌文<sup>1)</sup>、栗田卓也<sup>2)</sup>

1) 埼玉医科大学総合医療センター内分泌・糖尿病内科

2) 埼玉医科大学内分泌・糖尿病内科、3) 埼玉医科大学中央研究施設 R I 部門

4) 慶応義塾大学医学部臨床検査医学、5) 埼玉社会保険病院内科

**26. インスリン治療により誘導されるインスリン抗体****— 1 型糖尿病と 2 型糖尿病患者での比較検討 —**○阿比留教生<sup>1)</sup>、村田美美<sup>1)</sup>、赤澤 諭<sup>2)</sup>、中村 寛<sup>1)</sup>、植木郁子<sup>1)</sup>、厨 源平<sup>1)</sup>、堀江一郎<sup>1)</sup>、古林正和<sup>1)</sup>、桑原宏永<sup>1)</sup>、川崎英二<sup>2)</sup>、山崎浩則<sup>3)</sup>、川上 純<sup>1)</sup>

1) 長崎大学病院内分泌・代謝内科(第一内科)、2) 長崎大学病院生活習慣病予防診療部

3) 長崎大学保健・医療推進センター

**27. 1 型および 2 型糖尿病の病態に及ぼすインスリン抗体の影響**

○高橋和眞、小野光隆、松井瑞絵、笹井賢良、高橋 徹、本間博之、藤原史門、梶原 隆、種市春仁、武部典子、佐藤 譲

岩手医科大学内科学講座糖尿病・代謝内科分野

**11:20 ~ 11:30 休憩**

座長：栗田 卓也（埼玉医科大学内分泌・糖尿病内科）

**1. 1 型糖尿病疾患感受性遺伝子：HLA と non-HLA**

池上博司

近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科

**2. 1 型糖尿病疾患感受性遺伝子****— 小児インスリン治療研究会より HLA 遺伝子について**杉原茂孝<sup>1) 2)</sup>

1) 東京女子医科大学東医療センター小児科

2) 小児インスリン治療研究会遺伝素因プロジェクト

**12:30 ~ 12:40 閉会の挨拶・次期会長挨拶****13:00 ~ 14:00 世話人会**